

令和2年8月 木更津市定例教育委員会会議 会議録

1. 日 時 令和2年8月11日(火) 午後1時00分～午後1時50分
2. 場 所 木更津市役所朝日庁舎 会議室E
3. 出席者 教育長及び委員

教育長 高澤 茂夫
委員 武井 紀夫
委員 渡部 佳子
委員 豊田 雅之
委員 井上 美鈴

職員

教育部長	岩埜 伸二
教育部次長兼教育総務課長	中村 伸一
教育部参事兼学校教育課長	今井 克彦
文化課長	小高 幸男
まなび支援センター所長	前田健太郎
郷土博物館金のすず副館長	稲葉 昭智
中央公民館長	星野 隆弘
(会議事務局)	
教育総務課課長補佐	古賀佳代子
教育総務課主任主事	萩原奈央子

4. 傍聴人数 0名(非公開議案1件)
5. 議 案

議案第18号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検及び評価に係る報告書の作成、議会への提出及び公表について

6. 報告事項 なし
7. 議事大要

○高澤教育長

定刻となりましたので、令和2年8月定例教育委員会会議を開催いたします。

会議録署名人には、武井委員にお願いいたします。

また、前回7月定例の会議録につきましては、井上委員と私が確認しそれぞれ署名をいたしました。

それでは、議案の審議に入ります。はじめに、議案第18号「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検及び評価に係る報告書の作成、議会への提出及び公表について」を議題に供します。事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

○中村教育部次長

議案第18号「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検及び評価に係る報告書の作成、議会への提出及び公表について」の提案理由をご説明申し上げます。

す。

議案資料2ページをご覧ください。本議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、令和元年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行い報告書を作成いたしましたので、市議会へ提出するとともに公表をすることについて、木更津市教育委員会組織及び運営規則第5条第2号の規定により議決を得ようとするものでございます。

お手元に配付させていただきました、表紙に「平成31年度（令和元年度）教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価（素案）」と記載のございます資料をご覧ください。こちらが、本日、委員皆さまの審議・議決の後、9月市議会定例会への提出を経て本市ホームページ等を活用し公表することとなります報告書でございます。この点検・評価につきましては、4月定例会議にて、委員皆様にお示しし、意見をお伺いしたところでございます。また、令和2年5月20日に開催されました令和2年度第1回木更津市行政改革推進委員会におきまして、同委員会委員へ「平成31年度（令和元年度）教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価（素案）」を配付し、意見聴取を実施いたしました。これらの意見聴取につきましては、いくつかご意見をいただきました。また、部内で再度精査した結果、一部の記述等を修正させていただきましたので、その内容についてご説明いたします。

5ページをご覧ください。1 教育内容の充実、(1) 確かな学力の育成、①の評価について、目標は達成したものの、目標を超える成果とまでは言えないのではとの理由から、評価をAからBに修正させていただきました。続きまして、9ページをご覧ください。(4) 読書活動の推進、②について、結果欄の説明をより詳しく記述するよう修正いたしました。続きまして、10ページをご覧ください。(5) 国際理解教育の推進、②及び(6) 情報教育の推進①、②について目標は達成したものの、目標を超える成果とまでは言えないのではとの理由から、評価をAからBに修正させていただきました。続きまして、11ページ(9) 就学援助事業の推進、①については、入学説明会の実施やチラシ配布といった内容を追加し、分かりやすくなるよう修正しております。同じく17ページ、(2) 学校評価事業の推進、②について、分かりやすくなるよう開かれた学校づくりに向けた取り組みを追記した形に修正しております。

続きまして23ページ、(3) 生涯学習の基盤整備と総合調整、①について、評価をCからBに上げるとともに、結果欄も修正をいたしました。本施策については、今後の方向性について他市の状況を調査・検討したことが主な実績となっております。今後、調査結果を踏まえ本市の方向性を検討していく予定でございます。続きまして、24ページをご覧ください。

(3) 生涯学習を通じたまちづくりの振興、①について、評価をDからBに上げるとともに結果欄を修正いたしました。出前講座については、年度途中のスタートだったため利用団体数は多くなかったものの概ね好評だったこと、また、市民公開講座については台風の影響で中止となった回もありましたが、学習機会の提供という目的は達成されたと考え、評価を上げたものでございます。

続きまして、40ページをご覧ください。(1) 人権教育研修会の開催、①について、評価をDからBに上げるとともに、結果欄を修正いたしました。こちらは、様々な人権に対する

理解を深めるため、研修会等を行う目的の施策となり、昨年度についても企画を進めてまいりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったものの、中止理由が外的要因であったことから、結果はBとさせていただきます。最後に今後のスケジュールについてですが、本日、委員皆様にご審議いただき議決をいただきました後、9月市議会定例会への提出を行いたいと考えております。また、その後はホームページを活用し、市民へ公表させていただきます。

説明は以上でございます。

○高澤教育長

ただいま、事務局から提案理由等の説明がありました。この件につきまして、ご質問はございますでしょうか。

○井上委員

直接、この評価に係る質問ではございませんが、12ページ(2)管理用備品の整備の欄において、児童生徒用机・椅子の整備という記載がございます。木更津市のお話ではありませんが、授業参観等に行くと子どもの背丈と机・椅子のバランスが取れていないようなお子さんも見受けられます。基本的には先生が4月に合わせていただいているのですが、1クラスとはいえ担任の先生1人で全てを調整というのも難しいように思いますので、何か良い解決策があれば良いと感じております。

○今井教育部参事兼学校教育課長

現在、机・椅子の整備については市において整備計画を作成し実施しているところではございますが、整備が追い付いていない状況もあります。基本的には低学年から可動式を優先的に整備しておりますので、そういった可動式のものでそもそもバランスが取れていないような机・椅子が無いようこちらは学校に働きかけていきたいと思っております。

○井上委員

可動式の調整を先生1人で行うのはかなり手間なように思うのですが、そういった点はいかがでしょうか。例えばですが地域の方に応援を頼む等の案ですね、そういうことも考えられるのかなと思います。

○今井教育部参事兼学校教育課長

調整自体は慣れればそこまで難しいものではないとは感じます。また、担任のほかにも教頭、用務員等が学校にはおりますので、そういった調整も仕事のうちと考えております。井上委員のおっしゃるようなことがないよう、働きかけてまいります。

○井上委員

もう一点、別のお話なのですが、17ページ(2)学校評価事業の推進については、保護者の評価も含まれているのでしょうか。学期に1回程度か、頻度は分かりませんが保護者への評価アンケートがあるかと思っております。そちらも含まれているのかという質問になります。

○今井教育部参事兼学校教育課長

井上委員おっしゃる通り、学校自身の評価、保護者の方からの評価、また地域からの評価等を踏まえたうえの最終評価を学校が教育委員会にあげるものとなります。

○井上委員

ではそのうえでの質問ですが、保護者からの評価は紙のアンケートで頂くと思うのですが、こういった形で回収されているのでしょうか。個人的な例で恐縮ですが、私の子どもが通っている学校では三者面談の際に持参するよう求められています。つまり完全な匿名ではないと感じております。ですので、木更津市においてはこういった対応をされているのか、完全に匿名になるよう配慮されているのか、あるいはそもそも記名式であるといった場合もあるかと思いますが、お聞きしたいのですが。

○今井教育部参事兼学校教育課長

細かいやり方は各学校によって異なるものなので一概には言えませんが、基本的には先ほど井上委員がおっしゃったような回収方法が多いと思われます。面談の際にお持ちいただく、あるいは期日を決めて子どもが持参するといった方法ですね。

○井上委員

もし匿名でのご意見を求められているようであればですが、現在の方法だと完全に匿名ではないため、保護者の本音をなかなか言いづらいという点があると感じます。例えば選挙のように箱に入れる、封をする等の対策があってもいいのかと思いました。ただ先生方としてはどんな親御さんがこういった意見を持っていらっしゃるかもお知りになりたいのかなとも思いますので難しい問題だとは感じますが、検討の余地があればと思った次第です。

○高澤教育長

本市において、保護者に対するアンケートは年2回行っており、4段階評価で丸を付けていただくことが基本となっています。自由記述欄を設けている学校とない学校があると思いますが、いただいた内容については学校で取りまとめて結果を保護者にもお示ししております。

○前田まなび支援センター所長

回収方法については先ほど今井参事より説明がありましたとおり、学校によって異なるところではございますが、例えば私がいた学校では封筒に入れて子どもが持参し回収という形を取っておりました。確かに面談での回収になりますと個人が特定されてしまうのではという件も分かるところではございます。ただ実際には、各学級の担任に出すためどの学級から出てきたのか、こちらも調べようと思えば分かるといった程度ですね。また記入欄に学年と男女を記載いただく欄があります。こちらはアンケートの集計上最低限必要な区分なのではないかということで載せておりますが、無記入の方もいらっしゃいますし、また逆に記入欄はないけれども名前を書かれて提出される方もいらっしゃいます。

○今井教育部参事兼学校教育課長

教師の側から見ますと、どの保護者がどういうアンケートを書かれたかという個人の特定はしておりませんし、わざわざ保護者の特定をしたいという気持ちもないと考えております。ただ一方で保護者の方から見ると、特定されるかもしれないという恐れがあるといったお話も分かりますので、今後検討してまいりたいと思います。

○高澤教育長

ほかにご質問がなければ、ご意見はございますでしょうか。

＜意見なし＞

ご意見がなければ、採決に移ります。議案第18号「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による点検及び評価に係る報告書の作成、議会への提出及び公表について」につきまして、原案どおり賛成の方、挙手をお願いいたします。

＜挙手全員＞

賛成全員で原案どおり決定いたしました。

以上で、本日予定しておりました議案の審議を終了いたします。

続きまして、報告事項ですが、今月の報告事項はありません。

続きまして、その他の事項につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

【その他、事務局連絡・報告事項】

- ・令和2年度教育費9月補正予算要求について（減額分）

説明：中村教育部次長、今井参事兼学校教育課長、小高文化課長、前田まなび支援センター所長、稲葉郷土博物館金のすず館長、星野中央公民館長

○高澤教育長

その他、委員からご意見等ございますか。

○渡部委員

昨年度、市内小中学校の空調整備をしたと伺っておりますので今年度は使用できていると思うのですが、今年コロナの関係で夏休みが短くなっている等のイレギュラーもございました。子どもの状況等をお聞きしたいのですが。

○今井教育部参事兼学校教育課長

今現在、短縮の夏休みのせいで体調を崩した児童生徒がいる等の報告は受けておりません。今年コロナの件、また暑さを考えますと結果的に昨年度整備が完了して良かったと感じております。今のところは順調に対応できております。

○高澤教育長

また、エアコンに関しては普通教室にしかつけておりませんが、今回のコロナの関係で特別教室も使用する場面が出てくるとのことで、何度かご説明しておりますコロナ関係の補助金でスポットクーラー等を新たに入れております。そういった機器も利用しつつ9月以降も対応していく予定です。

ほかになければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして、令和2年8月定例教育委員会会議を終了いたします。

會議録署名人 教 育 長
委 員